



初日のNY、みんなでパチリ

アメリカ、初めてのホームステイ、何もかもが初めてだった8日間でした。しかしそんな中でも色々なことを感じる事ができました。例えばアメリカ人の人々は皆心が温かく、優しいということや、街の風景と日本では感じる事ができないものがたくさんありました。

ぼくがびっくりしたことが食べ物の量です。それはそれは食べきれないほどの量でもびっくりしました。このような体験がまたできるような積極的にやっつけていきたいです。



みんなで楽しく和風作り

今回の訪問はとても良い経験になりました。この経験を生かし、普段の生活でも積極的に話しかけ、コミュニケーションをとり、良い人間関係を築いていきたいです。最後にこのような機会をい



いつの間にかみんな友達です

た、いただき、ありがとうございます。松本 桃歌 下田中学校 私は今回、本当に貴重な経験をさせていただきました。どこにいても、飛び交う言葉は英語。そんな環境にいる自分が不思議で、楽しくてあつという間の一週間でした。一番印象に残ったのは、日本より、「ありがとう」という気持ちを素直に伝えていたことです。初対面の人でも、ちょっとしたことで「Thank you」と言ってくれたり、とても身近に感じる事ができました。このような経験を、自分の学

校や、下田市全体に広がってきたいです。本当に、自分へプラスになることばかりでこれからの人生の視野が広がりました。ありがとうございます。石井 暁彦 下田東中学校教諭 "America's First Resort" と呼ばれる大変美しい街、ニューポート市へ下田市の各中学校からの代表生徒4名と訪問、4日間のホームステイに参加させていただきました。中学生にとっては初めての海外で、3日間のニューヨーク訪問の後、ニューポートに着いたばかりの時には緊張と時差ぼけから少し疲れた様子でしたが、ホストファミリーみなさん、交流協会の関係者の皆さんの手厚いおもてなしのおかげで、2日目、3日目と全員が顔を合わせる度に全員の明るい笑顔が見られるようになり安心しました。また、現地の黒船祭(Black Ships Festival)では中学生も式典に参加し、凧づくりのワークショップでは積極的に凧づくりを現地の子どもたちに教えるなど、日本の文化を楽しく紹介してくれました。今回の訪問を通して、人と



来年もまた楽しい交流ができますように

人のつながりの大切さを改めて実感しました。話す言葉や文化は違っても現地の皆さんと共に素晴らしい時間を共有できたことは最高の喜びです。家族総出で私たちを歓迎してくださったホストファミリー皆さんや現地の皆さんのホスピタリティに感謝すると共に、今回の訪問での多くの新しい出会いに感謝し、これからもこのつながりを大切にしていきたいと強く感じました。来年からの黒船祭は私にとっても、中学生にとっても、これまで以上に感謝とおもてなしの心に満ちたものになると思います。ニューポート市からの訪問団の皆さんとの再会を楽しみに来年の黒船祭の日を迎えたいと思います。

ニューポート市訪問体験記

～中学生編～



ニューポート市について

ニューポート市はアメリカ合衆国ロードアイランド州の南東部、ロードアイランド島の南西端に位置する、美しい港と閑静な海岸線を有する観光・港湾都市です。車でニューヨークから約3時間半のところにあります。

約370年の歴史を誇るニューポート市は米国の歴史と歴史的建造物の宝庫です。中でも、19世紀末から20世紀初頭に海岸沿いに建てられた富豪たちの豪華な別荘の数々は一番の見どころとなっています。また、ヨットレースのアメリカズカップは一世紀以上にわたってニューポート沖上で開催され、ヨットの都と呼ばれてきました。今もヨットハーバーには多くの優雅なヨットが連なっています。

姉妹都市提携の歴史

下田市では昭和9年下田開港80年の年に第1回黒船祭を開催して以来、日米先賢の偉業を顕彰しその功績を記念するため、毎年黒船祭を開催してきました。

昭和32年、さらに国際親善を推進するとともに観光施策に資するため、アメリカ合衆国における下田と縁のある地を選んで都市提携縁組を考

え、アメリカ文化センターに協議し、黒船を率いて下田に來航したペリー提督の出生地ニューポート市、玉泉寺に日本最初の総領事館を開設したタウンゼント・ハリスの出生地であるサンデーヒル町の二つを推薦されました。

その後、各方面の意見を求め協議の結果、都市の規模、歴史的見地からニューポート市を候補都市として決定しました。昭和33年3月7日、姉妹都市縁組の申し入れをおこない、同年4月7日、承諾の回答を得ました。

これにより5月17日「第19回黒船祭」式典の席上、ダグラス・マッカーサー2世米国外大使他内外1,000名の参列者を前に、鈴木貞雄下田町長とヘンリー・C・ウィルキンソンニューポート市長の両名で姉妹都市提携の成立を宣言し、交流の第一歩を踏み出しました。

これは日本で9番目に結ばれた国際姉妹都市提携でした。

それから約50年余りの間、ニューポートの黒船祭参加を主として、公式には約350名が訪問し、交流を深めてい

きました。そして今年も大黒市議会議長を団長として4名の中学生がニューポート市を訪れ、普段では決して経験できない、異文化を肌で感じてきました。

今回は中学生の体験談を掲載します。

土屋 裕太郎 稲祥中学校

ぼくがニューポートで4日間ホームステイをして一番感じたことは、スポーツの素晴らしさです。当然、向こうでは日本語が通じないので上手にコミュニケーションがとれず、ホームステイ先の子とも仲良くなる事ができませんでした。しかし、サッカーを通じて一気に友情を深める事ができました。

その時頃はスポーツは言葉の壁を超えるなど初めて感じました。また、今回は英語での会話が上手にできなかったため、もっと英語を勉強して色々な人と会話ができるようになりたいです。

相馬 舜 下田東中学校

初めての飛行機、初めての